

路線バスをつないで気軽にまわろう” やさしいまちこまつ”
～地域公共交通を活用した観光マップの開発とSNSでの魅力発信の検討～

学生団体名 世代間交流研究会（金城大学短期大学部）

参加学生 橋本怜奈、佐藤凜花、陳雪芳、野坂奏帆、吉田昌平、田中瑠七、奥田結菜、長尾玲奈、
村本美沙、朝島祐希、田中響一、中澤史織、榎本咲希

1. 地域活動の概要

小松市は、市内に石川県の観光ハブとなる空港や駅などを要し、温泉、自然、モノづくり、石文化など様々な観光資源があるにもかかわらず、一方で自動車がないと地域を思ったように回ることが困難という状況でもある。

今年度は、私たちが実際に公共交通機関（路線バス）を使い、既存の観光コースを回りながら学生自身の評価を行った。さらに地域事業者たちとのワークショップを行い、新しいコースの造成、実証実験を行った。

2. 地域活動の具体的な内容

①小松市ふるさと共創部市民協働課との打ち合わせと視察

日時：8月16日（水） 10時00分～17時00分

場所：小松市役所、滝ヶ原地区石切り場、アーチ橋等、那谷寺、栗津温泉

人数：12人（学生6人、教員1人、市職員5人）

内容：小松市役所当局者からの現状の小松の観光資源、バスルート、既存の路線バスを利用した5つの観光ルートについて説明を受けた後、質疑応答を行った。午後からは、日本遺産を中心とし、地元の方に案内してもらいながら滝ヶ原地区、那谷寺、栗津温泉などを視察。翌日行うことになっていた5つのルートについて、担当者や時刻などを確認し調査に備えた。

図1 小松市役所での勉強会の様子



図2 滝ヶ原地区の石切り場見学



②既存 5 ルートの実地調査

日時：8 月 17 日（木） 8 時 00 分～17 時 00 分

場所：小松市内の観光資源（5 ルート）

人数：10 人（学生 8 人、教員 1 人、外国人 1 人）

内容：小松市役所が作成した既存 5 ルートを分担して実地調査を行った。ルートに沿って回って行ったが、自分たちで実際に歩くことで、案内板がなく地元の人でなければわからない所や、徒歩での移動距離が長すぎる所、バスの本数が少なく乗り過ごす大変不便になることなどが確認できた。また外国人と一緒に回ったグループでは、こんなことが外国人に受けるだろうという一方的な考え方が間違っており、外国人にもさまざまな意見がある事がわかった。

図 3 小松駅バス停



図 4 荒又峡バス停



図 5 荒又峡



図 6 公共交通機関のないところはひたすら歩く



③地元事業者たちとのワークショップ

日時：11 月 10 日（金） 18 時 30 分～21 時 00 分

場所：小松市まちづくり交流センター

人数：10 人（学生 8 人、教員 1 人、外国人 1 人）

内容：自分たちの実地調査の経験を踏まえ、不便に思ったこと、改善したほうが良いと思う所を洗い出し発表した。その後、地元事業者とのワークショップでは、自分たちで作成した「小松市観光デー

タベース」などを用いながら、本当に市民が見てもらいたい小松市の観光資源を洗い出し、「王道コース」と「リピーターコース」に関わる観光資源を整理した。

図7 実地調査の成果発表



図8 ワークショップの成果発表



④新しい小松の観光を考える会会合参加

日時：11月13日（月） 13時00分～15時00分

場所：栗津温泉辻のや花乃庄 宴会場

人数：13人（学生3人、教員1人、地元事業者9人）

内容：小松の地元事業者たちの会合に招待され、自分たちの活動について発表を行った。また、現在この会で考えている内容を聞きながら、「若者に魅力あるもの」というテーマで意見を聞かれ、討議に参加した。

図9 団体の活動成果を発表



図10 質疑応答



⑤新ルートの実地調査

日時：1月20日（土） 10時30分～17時00分

場所：新観光コース2ルート

人数：6人（学生6人）

内容：新しく組んだ「王道コース」、「リピーターコース」を実際に行くことで、問題点を探り出す。

3. 地域活動の成果

実地調査を行った結果、下記5つの意見を得ることができた。

- ①既存のコースは完璧に作られている。⇒改善する余裕があまりない。2回目以降の人向けか。
- ②歩く距離が結構長い。⇒レンタサイクル、その他の移動手段が欲しい。春秋にお勧めする。
- ③歩くところにエンターテインメント性が少ない。⇒新たに作る必要はないが、仕組みで工夫する。
- ④看板類は結構少ない。⇒地域外の人でも迷わない工夫が必要。
- ⑤バス停が分りづらい。⇒地域外の人でも迷わない工夫が必要。

これらの結果を基に、地元事業者とワークショップをして、①初めて小松を訪れた人でもここさえ回れば小松市が分る＝「王道コース」と、②何度も小松市を訪れている人でも楽しめる＝「リピーターコース」の2つを作り出した。

4. 来年度の地域活動計画

今年度は、活動の様子をSNSで発信していく予定であったが、計画中のものばかりで、自分たちの活動の様子しか発信できず、小松市の魅力を伝えるところまではいかなかった。せっかく小松市観光データベースを作り上げたので、次年度はこの中から自分たちで実際に訪れてみてレポートなどを行う計画である。

また、小松市に訪れる人を大まかなターゲットに分け、「王道コース」、「リピーターコース」を作ってみたが、話を聞いていると、性別や年代、職業などによっても、求めているのが違う事がわかってきた。

次年度は、もう少しターゲットを絞り込み、ターゲットごとにテーマを決めコースを作っていけるように資料を残していきたい。

5. 学生の感想

近隣の市町村であってもそんなに行くことのない小松市の事がわかり大変勉強になった。グループの中には小松市民の学生もいるが、地元民である彼女たちも分らないことがたくさんあった。

今回、既存のルートを検証することで、小松市の事が多少わかってきたが、地元の人たちとのワークショップをやることによって、もっと知ってもらいたい資源やそんなことができるんだと思うような穴場がある事がわかった。

私たち自身がそれを楽しみ、そして発信していくことができれば、小松市に来たいと思う人も増えるだろうし、実際に来てくれた観光客の方も喜んでくれると思う。

6. 地域活動に対する地域からの評価

短い時間のワークショップでもたくさんの観光資源があがり、もっと小松市の事を知らなければいけないと思った。また、このワークショップがきっかけで、地元で活動している別のグループに、自分たちの意見を聞いてもらえる体制にもなってきた。

これまで以上に活動の範囲とネットワークを広げていき、自分たちの活動を知ってもらいながら情報発信をしていきたい。